大公報

阿Q小組公認機関報
発行：阿Q通信公司
東京都渋谷区広尾5-21-2
長谷部第2ビル ブラッツ内
☎03(449)9713 〒150
郵便振替東京8-357538
編集人 樫村富士夫
1989年3月25日発行
第4巻第2号 通巻28号
毎月1回25日発行予定
第3種郵便物未認可

初の消費税導入アルバムだ！

レコード価格の低下は大変ありがたいものの国会では強硬採決、トータルでは増税の現実

ダンサボゥなばかりか聴ける——と老若男女を問わず好評の阿Q、そのセカンドアルバムが四月二一日に発売される。このアルバムは昨年末から正月にかけて、青い海と赤い大地が人間に「あ、あたしって、こんな小さな存在だったのね」と感傷心を与えてしまう反面、その自然の雄大さの中に存在している「あたし」に一生命としての歓喜の心を与えてしまうことで、世界にその名をとどろかす日本のジャルパッカーの間でも昨年からやたら評判になった、かの南海の大陸、水洗トイレでカンガルーが左まわりで排水溝に吸い込まれていく渦巻きをながめストイックになってしまう、あのオーストラリアのバアス市でトータル録音された作品だ。

このアルバムが、やはりまず、阿Qの従来からの真心である、踊れる、聴ける、元気になれる、という従来からの阿Qらしさを継承していることはもちろんだが、それにもまして、全曲にわたって、阿Qの5W1Hが明確にでてきている。

やはり、ほとんどの曲が喧嘩うずまくハこの東京砂漠〜♪Vに暮らし始めてから一気に阿Qさんの中から世間に披露されたものであり、数年前から歌唱演奏してきた数曲も、歌詞はハいまの阿QVに編み直された。そのような道のりと見知らぬ異国の広野での集中作業で「阿Qらしさ」がハッキリとアルバムの中に表現された。

それでも、よく、地方モンが花の都・首都・東京に暮らし始めると、いきなりハ東京ララバイVしてしまうものだが、阿Qさんは東京に暮らそうが、鳥取に行こうがバアスで録音しようが阿Q、だ。メディアに踊らされた都会派トレンディライフなどのO—WHAT」であることはモチロンである。

数年前、阿Qが活動を開始したころから世間様のハシロい目Vに耐えながら阿Qを聞き続けてきた長老阿Qフリークでも、一ヵ月前に阿Qを初めて耳にした阿Q初心者も、「そうか」と感じてもらえるアルバムなんじゃなかろうか。

とは云うものの、そのハ阿QらしさVにとっての、今回のリリースにおける最大の敵は、そう、消費税だ。

例えばキミが、指折り数えながら（指を折る時にテノヒラのほうに折らず、手の甲に向けて「あと十日」からファイナル・カウント・ダウンしていたら阿Qの感動はヒトシオだ）ハリレーVの発売を待って、発売日、レコード店に飛び込んだとしよう、そして「阿QのCDくださーい！」と元気一杯三二〇〇円を出した時の、その時の定員の返事はこーだ——お客さん、三〇〇八円だよ……。

「えっ、三〇〇八円。なによ、それ、私はCDを買いに来たの、四九八円の特売牛肉すき焼き専科を四パックと、子供がダダこねるからチロル・チョコを二個買ったんじゃないの！」とキミが平常心を失うのは明白だ、ミンバイ、ミンバイ。

しかし、どうアガこうとも、阿Qの今回のCDは消費税の導入で三〇〇八円なのである。

キミが待ちに待った阿QのセカンドをB胸に押さえて家路につこうとも、頭の中は「いったいどんな曲なのかしら……」という期待ではなく、「CDが三〇〇八円、シングルCDが九三七円……」という慣れない現実なのだ。

そして更に、繰り返し繰り返し阿QのハリレーVを聴いて、翌朝、学校や職場に行ってキミの友人に告げる最初の一言も、「ねえ、聴いた？」という、レコード・セールスにとって全く何の効果もない最悪の効果（友人からのなにげない世間話）になってしまうのである！

だからこそ、ここで口をすっぱくして「阿Qの三〇〇CDは三〇八円だ」と繰り返す。今のうちに、そのリリースを認識し、「発売おとなり日にはなにか、そのうちの現実に、ハリレコッタ〇〇八円ドリ八円店を円とわ知ら

“リレー” 4月21日

4月21日 リレー RELAY
発売の祈念特価 CD3008円／MT2637円

同時発売 シングル・8cmCD
ナスティ
B面 ただ……
8CD3曲入<詳細3頁参照>

阿Q全国縦断「リレー」ツアー

お問合せは ブラッツアーティスト 03(449)9713
月曜〜金曜 午前10時から午後7時

3月	18	(土)	名古屋	ELL
	21	(火)	大阪	ミューズホール
	22	(水)	姫路	FORUSホール
	30	(木)	大阪	バナナホール
	31	(金)	京都	磔磔
4月	1	(土)	神戸	チキンジョージ
	21	(金)	東京	東放学園新館
	22	(土)	東京	寺田倉庫F号倉庫
5月	14	(日)	秋田	FORUS MORNING MOON
	15	(月)	青森	スペース1／3
	17	(水)	仙台	仙台市民会館

052(261)0641	
06(315)0664	<S>
0792(21)3065	
06(315)0664	<S>
06(315)0664	<S>
06(315)0664	<S>
一般入場なし	
03(770)8899	<F>
0188(35)1205	
0177(77)4770	
022(222)2093	<G>

4月22日（土）〜ポップ リムジン Ⅱ〜
主催： びあ株式会社 ㈱フリップサイド
場所： 品川天王州 寺田倉庫のF号倉庫
（品川駅より臨時バス運行 徒歩15分）
時間： 17時開場 18時開演
料金： 3000円（問）03(770)8899<F>
チケットぴあにてチケット発売中 来てね
チケットぴあ

問合先 <F> フリップサイド <G> ジー・アイ・ピー
案内 <S> サウンドクリエーター

太平天国にはいって幸わせになろう

特典
阿Q手帳など豪華特典
コンサート優待券
特製ソノシートを譲渡
阿Qフリークの集い参加
毎月の大公報を郵送ナド

阿Qさんで、いわゆる「ファンクラブ」に値するのが「太平天国」だ。建国三年目をむかえ、北は札幌から南は熊本まで全国津々浦々に秘密結社網をめぐらして、ファンキーな生活の普及につとめている。

なかには建国以来、太平天国の国民だったものの、結婚の際、夫に「太平天国国民である事実」を知られるのを恐れて出国した国民もいるが、国民の大多数は「歌って、踊って、愉快さ満点」という小湧園か磐光パラダイスか、というユートピア・ライフをエンジョイしている。だから、キミもはいろう。

もちろんのこと、太平天国は消費税導入で年会費を三〇九〇円になどしないが、三月中に入国しよう。四月からの新しい生活の門出に、太平天国国民としての誇りと自覚は、きっと幸せを呼ぶ。

また、新入学、就職をむかえる友人の名前でキミが勝手に入国させてしまうのも新鮮なはずだ。

入国方法
郵便局から郵便振替
東京8-357538
加入者名 阿Q通信公司
年会費 一律 二〇〇〇円

阿Q通信販売

①阿Qトレーナー 三〇〇〇円
Tシャツ同様、タラコ直筆の「マザー・スタンディング」
②阿QTシャツ 一〇〇〇円
ジャケット画（在庫少な）
（LとMのサイズを明記）

③阿Qバッチ三〇〇円

④阿Qシール一〇〇円

⑤ソノシート三〇〇円
阿Qのメンバーが内職していると噂のバンド「小D」のデビュー作「バビロンの小鳥の精神集中」

「太平天国」結成

国民にグッズをついに郵送する

本当にお待たせしてしまった。ついに阿Q手帳、ソノシートなど阿Q「太平天国国民セット」の支給となった。

ここまで待たせておいて言い訳は許されないだろうが、「外部業者に発注」なんて資本主義っぽい行為をとれば、早かったものの、阿Qはレコーディングで公園の桜バム・ジャケットやビデオの撮影、テニスプレーに麻雀、敵対する組への出入り（この、夢路いと・こいし師匠でも今でし・こいし、わかっちゃいうまい古典ギャグ）と忙しく、なかなか企画製るけど、なかなか企画製作に取り組めないでいたのだ。

しかし、もうすぐ春を迎えるわけで、みんながカラフルなブラウスに白桃色のカーディガンで公園の桜の下を笑顔でゆくなか、白いブラウスに茶色のオーバーにチェックのマフラーをして背中を丸め「春は、どこじゃ〜い」と叫ぶ国民の姿は想像を絶し、ついに郵送することとなった。

もちろん、会費だけとって姿を消すなどの悪徳映画鑑賞団体、壺のくらます悪徳映画鑑賞団体、英会話教材を買ってオマケにハワイ旅行よりか、よっぽど真面目な「太平天国」だが、本当に申し訳ない。二度と遅れませんから許してくださいね。

堪忍袋の尾が切れた国民も涙！

大変お待たせいたしました

阿Q問い合せダイヤル☎

木村さんという親切なお姉さんか、樫村さんという誠実なお兄さんが電話にでる。間違っても「なんのよーだよ」なんて云わないので、安心して電話してほしい。

「マンジュウさんは、どうして、ベースソロの時にだんだんウシロにのけぞっていくんですか」というシビアな質問から「阿Qのことはどこに聞いても合わせればいいんですか」なんてシュールな質問まで、なんでも懇切丁寧にお教えしているのだ。

03(449)9713

阿Qもしもしダイヤル☎

毎週月曜日ごとに新しい内容で阿Qのメッセージ・テープを聞ける電話だ。

事務所に阿Qさんがいる時は、たまに受話器をとって「もしもし」と出るのだが、急なヒューマンボイスに驚いて電話を切ってしまう人もいるが、肉声の時は阿Qさんなので勇気をだして話そう。

通話が規定数を越えると、いくら鳴らしてもテープが応答しない時があるのだが、その時は「間い合わせダイヤル」に「出ないよー」と連絡してほしい。

根も葉もない噂は誤解のもと新鮮な阿Q情報はブラッツから

03(449)9717

国民の欄 優待チケット

太平天国国民のキミは、すぐに阿Q手帳を開いていただきたい。最後のページのほうに「コンサート優待券」がある。これについて説明しよう。

このチケットは、数あまたある阿Qコンサートのうち「ブラッツで前売予約を受けつけているコンサート」に限り使用できる。

だから「チケットぴあ」に、この優待券を持って行って、「えー、ダメなんですかぁ」なんてワガママを云ってはいけない。

もちろん「チケぴ」扱いなどのコンサートに関しては、国民優先販売などの国民特典が、そのつど告知されるので安心していただきたい。

そして、使用方法だが「阿Q問い合せダイヤル」に電話して前売券を予約する時（当日のチケット渡しもOK）、必ず「優待券の使用でございます」と告げ、国民番号をハキハキと伝えよう。そして実際にチケットを受け取る時は、この「優待券」が必要なので、忘れないで持ってこよう。わかったかな？

また、なんと、この「優待券」のメリットは、自分だけではなく友人のチケット購入にも使えることだ。「入場料が高い」などとノタマウ友人には効果的だ。

優待券を積極的に活用して「阿Qの普及」に協力していただきたい。

阿Qの心

伝言ダイヤルを利用し始めよう

ハ阿Q好きVの間で強力な情報交換

友人の少ないキミも友人ができる

NTTの「伝言ダイヤル」など、若いキミならとっくの昔に知っているだろうし、すでに利用しているかもしれない。ピッポッパで有名なプッシュホンを使えば、普通の電話料金で「声の伝言」ができるヤツだ。一株が百数十万円、大学卒の人気企業№1と民営化されてから順調だったもののリクルート疑惑でケツマづいたNTTだが、「伝言ダイヤル」はギャルを中心に大変よく利用されている。

そこで、阿Qも遅ればせながら「伝言ダイヤル」を利用したい。阿Qフリークの間で、いろいろ話したいものの、「阿Qファンなんです」なんてヒトサマの前で恥ずかしくて公表できぬ人は多いし、なかなかフリーク間で連絡はとりにくい。

そこで、「伝言ダイヤル」を通じて、ひごろ肩身の狭い思いをしているフリークの間で、いろいろ情報を交換したり、青年の主張してもらいたい。

伝言ダイヤル 利用の約束

約束A—ダイヤルは二種類！
①最初の人——ダイヤルの開設と最初の録音
②次からの人—伝言を聞いたり追加したり

約束B—地域により異なる番号

		①の人	②の人
関東		#8300	#8301
仙台		#8500	#8501
名古屋		#8304	#8305
大阪		#8302	#8303

約束C—この伝言ダイヤルの利用でイタズラやトラブルが発生しても、誰も責任を負えません。要注意！

伝言ダイヤル かけかた

まず、利用するには、8ケタの登録番号と4ケタの暗証番号を決めます。

ハ阿Q番号が決定！V 全国共通
登録番号 09090909
暗証番号 0909
（九月九日は阿Qの日と覚える）

⇒まず①にかけてみる
伝言のない場合⇒伝言済の場合
テープ案内に従ってダイヤルを開設して伝言を録音
②にかけ直す⇒テープ案内に従って、伝言を聞いたり、追加したり

伝言ダイヤル 注意事項

i だれが①でハ阿QダイヤルVを開設してもかまいません
ii 阿Qの番号でも偶然に知らない人が、この番号を使っている場合もあります
iii ①の開設をしてから八時間で伝言は消えてしまいます
iv 伝言が一〇件になると新しい伝言は録音できません

ソノシート「バビロンの小鳥の精神集中」絶賛発売中

「今年はそんなに寒くないけど、やっぱりフロリダの別荘に行くべきだったわ」と、NY在住のアンリももこさんより国際電話。

彼女は「バビロンの小鳥の精神集中」を演奏している、阿Qの裏バン、ともいわれている「小D」の産みの親だ。といったも、確かにこれまで横須賀を振出に新宿、バンコクのパッポンやパリのブローニュの森で仕事をしてきた中で、いろいろな出来事を通じて「小D」の三人を実際にお産した、というわけではない。

バビロンの小鳥

詳しくはソノシート裏面を読んでいただきたいが、「小D」の大阪鉄雄、鱸秀夫、気下義則の三人が、慣れない日本で順調にミュージシャンしているか、心配で電話をくれた。

「小D」は御除様で『スイング・ジャーナル誌』も知らないフリーミュージック——を売り物に頑張っている。

噂では、アルバイトで阿Qをやっている、という情報もあるが、今回、太平天国国民セットとして、この小Dのソノシートも配布されるわけで、この曲のなかにある「殺伐とした現代社会の刹那を混沌と演奏する私小説的醍醐味」（ジャズ評論家樫村氏）を感じていただきたい。

大公報ならではのスクープ！ 4・21発売のシングルCDに「私はミラー」の英語版を収録

これで米軍キャンプ巡業もできます——と喜びの阿Q

阿Qの4・21にアルバムと同時発売されるシングル「ナスティ」で二曲入りのアナログシングルに対してシングルCDには三曲目として、まるで阿部公房のような雰囲気のタイトルのアルバム収録曲「私はミラー」の英語ヴァージョンである。"I AM THE MIRROR"が収録されることが、本報の執拗な取材から判明した。

この、英語ヴァージョン収録は二月にはいり音楽業界の間で噂されはじめ、本報も偵察取材を開始したものの、阿Q関係者の口は固く、及川プロデューサーに至っては「阿Q、それ何？」とかたくなに収録の件ばかりか阿Qの存在すら知らないという姿勢を貫いていた。

それでも、本報編集局が東京は恵比寿の中古レコード店に入ったおり、偶然に阿Qのボーカルであるタラコ氏を発見し、彼のかたわらでレコードを探すフリをしていたところ、彼はサルサのコーナーでレコードを買う意志があるでもなく、ただの暇つぶしとしか思えない緊張感のない表情で"DAY AND NIGHT AND NIGHT AND DAY"と英語の歌を鼻ずさんでいる。

はじめは、ただの洋楽と思った本報編集員も、彼のあまりに流暢なフレーズに驚き、きき耳をたてたところ、どう聞いても、その曲は、4・21に発売されるアルバムの「私はミラー」のフレーズ。

驚いてタラコ氏に追求したところ、彼は顔面を蒼白にして「隠して申し訳ございません、私は実はバースで英語で収録してきたのでございます」と噂を一挙に認める発言。それでも「その事実はもう公表されてもイタシカありませぬが、どうか、私がサルサのレコードを探していたことだけは、お隠しください」という。そこで本報は彼の嘆願を受入れ、英語版の事実のみ報道することとした。

この"I AM THE MIRROR"は、バースで録音が続くなか開催された阿Qライヴで共演したレスター・リープスイヴのスティーブ・コールと懇意になるなかで、彼が阿Qに共感して「私はミラー」に英語の歌詞を書き、タラコとスティーブによるツイン・ヴォーカルで録音された。

これまでもピンク・レディや松田聖子など日本の超一流ミュージシャンも英語曲を発表しておるものの、タラコは「唄は心」という彼の座右の銘により、努力と精進を傾け、唇国（とつくに）に披露してもけして恥ずかしくない英語曲を歌い、ここにシングルCDに収録という形で発表、となった。

これにより、熱心な阿Qフリークの間では、さっそく「シングルCDを誰かに買わせて、録音してもらわなきゃ」と評判だ。

阿Qコンサート参観記

とても良質の会でございました

全日本PTA連絡協議会 理事長 平塚らいてふ 聞き手・本田勝一編集委員

ほかでもございません、私の数えで十八になる孫がロックですか、それに熱心で、去る二月の二十三日も、新宿までロックの音楽会に行くといいますでしょ、それで、孫に内緒で私も行ったんですの。

私も若い頃は、もうお亡くなりになりましたものの田谷力三さんに熱心で浅草オペラに何度も足を運びましたし、コーチャン……といってもロッキード事件ではございません、越路吹雪さんの「愛の讃歌」を聞きに、今ではマリリンでしたっけ、あ、マリリオンですか、近代的なビルになってしまいましたが、有楽町の日劇まで行ったものでした。

それでもねぇ、私の頃は、ほらスタインベックの小説にありますでしょ、アメリカの開拓時代の幌馬車の幌布でできたズボン、あれをわざわざズタズタに裂いてはいたり、赤と黄と緑の毛糸帽かぶってサイズの大きな皮の上着ですからねぇ、まるでデカタンなんですもの、私も羽仁さんの自由学園ではないですけど放任主義で、それでも、孫の時装にはちょっと。

行ってみましたでしょ、その阿Qさんとかいう音楽会、そうしましたら会場の入口には、もう、それはそれは皆さん、髪を脱色したり金髪にしてスプレーでお立てになってるでしょ、わざわざ脱色なんてしなくても私の年令になれば自然になりますのに。それで耳に安全ピン、胸には安全剃刀の刃……ブローチがほしいなら、私が戦前に神戸のマセソン商会で買った舶来のをあげますのに。私の孫の時装なんて地味なほうですわ。

それでも参観しないわけにはいきませんから、皆さんの「なに、このおばあさん」という視線に負けじ、と列に並びましたわ。敗戦の時の、ハルビンに住んでおりましたでしょう、そこからクーミンタンと紅軍の内戦が続くなかを大連まで命からがら逃げまして、大連の頭から下関まで引き揚げました時の苦労に比べましたらねぇ、これくらい屁の河童でございましょ。

あら、ついつい昔話になっちゃって。それで、入場しようとしましたら、受付の方に「これは、違う会場です」って云われまして、なんでも、私、えーと、ロ……ロフト、そう、ロフトって会場に行ってしまったんですの、年をとるのはいやねぇ。それであわてて円タクで行きましたよ、阿Qさんの。

まぁ、音は大きい、電光もまぶしい、おまけに真ん中で奇妙に踊りながら歌をうたってる方は、ときどき、二、三回でしたか、有毒ガスかしらDDTかしら、白いガスを私たちめがけて、かけるんですもの。ザルツブルグの音楽祭には慣れてますものの、驚きの連続でございました。

それでも、なかには、私でも聞けます、しっとりとした曲もございますでしょ、やっぱり、時代は違いますけど、歌にこめられてる気持ちは、私が若い頃と変わらないみたいですねぇ、安心しました。

みんな ありがとう——マンジュウさんの声

先月号で、マンジュウさんのバースでの水上スキーによるヨットの破損を面白おかしく紹介しましたところ、数名の読者から「まんじゅうさん、そんなことにめげずに一流のベーシストになって」という応援の声をいただきました。

誰もマンジュウさんをなぐさめない中での読者からの温かい声に本人も大変、喜んでおります。これからも精進いたします。ますますのご愛顧をお願いいたします。

読者への粗品

先月号で紹介した、阿QのバースでのXプレスマガジン（写真）を二十名の読者にプレゼントしよう。希望者は「東京都渋谷区広尾五—二一—二 長谷部第二ビルブラッツ 阿Q大公報の係」までうえ応募しよう（三月末日消印有効）。よろしくね。

編集後記

バースでの大陸気分も東の間、4・21の「リレー」リリースをひかえて、毎日毎日なとかと忙しいまま、春を迎えることになりそうな阿Q。二月二三日には新宿のパワーステーションで今年初の東京マンマンも盛況に終えて、東京で暮らし始めてからの、あっという間の一年を振り返るのでありました。

そして迎える春までは、ひと月以上もあるけれど、皆さんがたの声援でぇ一年ここまで来た阿Q、ひとつ、すみからすみまで、ずずいーっと「リレー」を聴いておくんなせぇ。所詮、音楽でございます、音を楽しむ、と書きますように、文字でクダクダ述べたかはねぇし、「俺たちからのメッセージを聴いてくれ」ってなセリフも云いたかねぇが、村所そこらのモンよりかぁ、マシなもんとは云わてやくんなせぇやし。世間ってぇもんがオイラみてぇな若輩モンにぃそう易々とこなせるなどたぁ思っておりやせん。それでもねぇ女将さん、オイラ、天神様の産湯に漬かって今日までのお多少の感慨ってぇやつを歌ってみたこと事実でございます、どうか、聴いてやっておくんなせぇ、女将さんいと、イントロが流れるのが、新宿コマ劇場で開催される北島三郎先生や細川たかし先生のショーなわけだ。阿Qも頑張るぞ。